

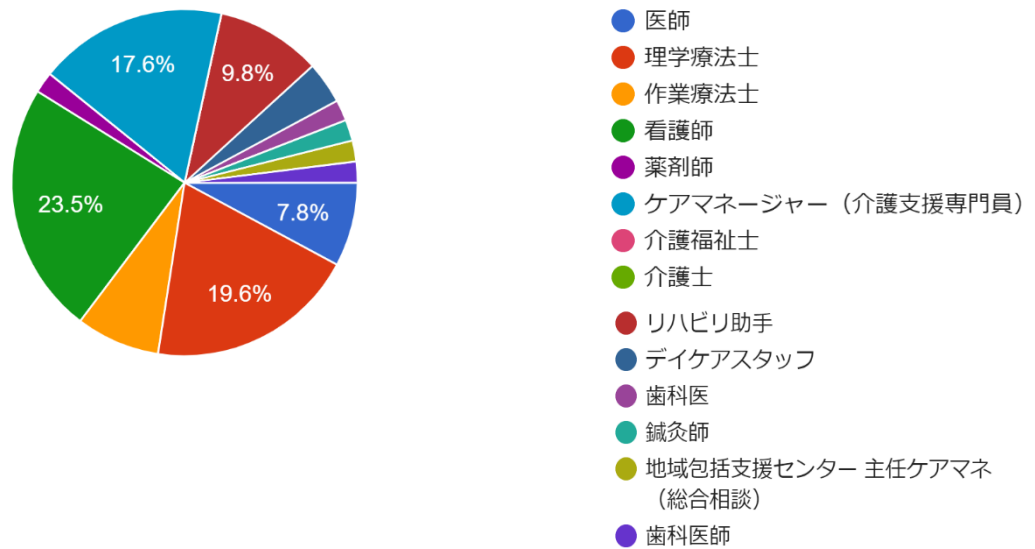
## 地域医療介護連携セミナー アンケート集計結果

2021年12月4日(土) 16:00~18:30 (ハイブリッド開催)

参加者数 計 90 名 (会場 4 名 オンライン 77 名 登壇者 9 名)

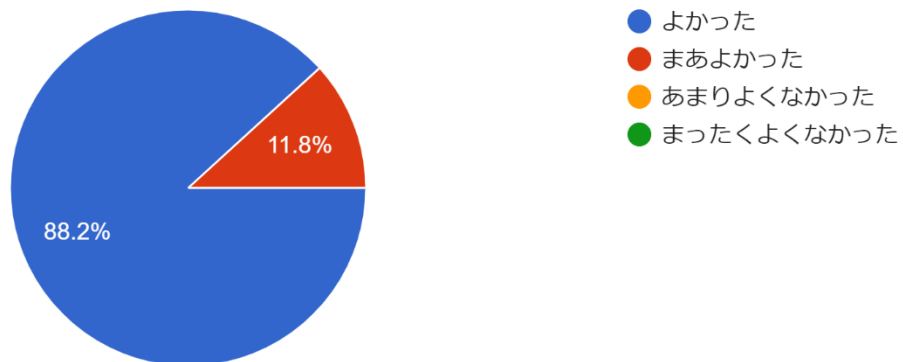
あなたの職種を教えてください。(兼任の場合は主な業種を1つ選択してください)

51件の回答



今回のセミナーの感想をお聞かせください。

51件の回答



感想や意見をお聞かせください。

- ・慢性疼痛の方にあいまいな対応ではなく、確立した技術で対応していくことの重要性を学ばせていただきました。
- ・かなり具体的な症例などあり、臨床で生かせることが出来そうです。貴重なご講演ありがとうございました
- ・痛みがありながらも動作ができるというところを、利用者さんに伝えていく大切さがわかりました
- ・皆様の講演よかったですと思います 特に岡山先生の仰っていること今後の支援に繋がりたいと思います
- ・多職種の視点や意見がうかがえてよかったです。痛みの専門家がいらっしゃるから受診をと、主治医に提案しやすいと思いました。
- ・デリケートな対応が大事だと分かった。
- ・具体的な内容で、治療場面ですぐに活かせることばかりでした。有意義でした。ありがとうございました。
- ・終末期の方の寄り添い方など、終末期に関わらず、意識するべきことを再認識できた
- ・事例を通して現場に即した内容が聞けてとても勉強になりました。
- ・すべての発表が実践的で勉強になりました。特に岡山先生の待つ、という考えが共感できました。慢性疼痛については鍼灸も勉強している領域なので今後連携していきたいと思います
- ・慢性疼痛者の在宅生活をチームで支えるために、理学療法士の役割が大きいと感じました。慢性疼痛を抱えて相談こらえた方にこのシステムを知ってもらって、活用出来たらいいと思います。
- ・途中から参加になり申し訳ありませんでした。今日学んだ事をまた患者様へ活かしていけたらと思います。
- ・セミナーありがとうございました。”
- ・痛みの訴えをされると、医師から運動の許可をもらっていても、運動を拒否をされて、その結果 ADL が低下し重度化される方が多くいます。支援する際に悩みます。
- ・今日の先生方からのお話を利用者にも伝えていきたいと思います。”
- ・とても貴重な講義に参加させていただきありがとうございました。次回も是非とも参加させていただきたいと思います。
- ・慢性疼痛に関する先進的な取り組み知ることが出来、また、在宅介護を支援する私たちの医療機関や PT との連携など参考になりました。”
- ・ターミナルケアでの疼痛についての研修は多いですが、慢性疼痛の対応が聞けてよかったです。
- ・全てのお話がとても参考になり、痛みで日々苦しんでいる方へのアプローチ方法として実践してみたいと思いました。

また是非参加させて頂きたいです。

- ・とても分かりやすく、凄く良い勉強をさせて頂きました。運動を拒否される利用者様も多数いる中で対応に困る事もありましたが、スタッフ間での情報交換や利用者様と色々なお話をしながら気長に意識改革が出来るように寄り添う事を心掛けようと思います。本日は ありがとうございます。
- ・聴く・待つ」大事だと思います。その中で、本人の頑張れることや必要な資源（頼るべきこと）の区別が付き、その人らしさがおくれるのかと思います。ただ、この技術を身につけるには相当なロールプレーといったトレーニング時間が必要となってきますが、その担当者スキルに対する報酬評価が認められていないことがとても残念です。話を聞く、待つには相当な面談時間をようしますし。対応するスタッフの疲弊感が大きくなならないような現場教育が必要に感じました。
- ・ZOOM でしたが、違和感なく参加できました。
- ・利用者さんそれぞれの個性を知ること、会話を通して、いろんなサインを見つけること、話術や聞く力など基本となることを再認識することができました。
- ・痛みは本人にしかわからないことだが、それにより日常生活に支障が出ていることを理解し、そのこともご本人にわかっていただく事でより良い関係性ができる 1 歩になると思いました。対象者をよくみて支援できるようになりたいです。”
- ・体が痛くて生活が制限されたり、精神的に不安定になっている方に出会うことがあります。
- ・その方々の生活の質が高められるお手伝いできればと思い参加させて頂きました。今日はいろいろなお話が聞くことができ、とても勉強になりました。ありがとうございます。
- ・慢性疼痛に対しては、こちらが治せない、よくする事ができない、という負い目のような感覚を持ちながら対応してました。
- ・今日のお話で、基本的な対応というものがある事を知り、自身の役割を再認識することができました。  
有意義なお話が聞けて、感謝しています。
- ・red flag をクリアしたり伺う事で、支援や生活行動への選択肢が随分と増えます。こうした情報共有ができるためにも、医師とリハビリの協働を上手くすすめるコツはあるのでしょうか。
- ・私は精神科訪問看護で作業療法士として働いております。今回の講演では、個別性はあるものの、痛みに対する具体的なアプローチを紹介して頂いたり、寄り添うことにも技術が必要なことが学べ、参加したことでお土産をもらったような気持ちです。  
また、近畿地方には痛みに対して寄り添う姿勢の医師が多くいらっしゃることも認識できました。

- ・中塚先生からは、理学療法士に期待との声が上がっていましたが、作業療法士にも期待してもらえよう頑張りたいと思います。”
- ・多職種協働
- ・慢性疼痛に対する理解が深まりました。
- ・痛みの辛さは、当事者しか分からないことがあるため、その痛みを分かってあげられる人になりたいと思いました。
- ・現場に沿った対応が良かった。
- ・医療介護連携の重要性の大切さが理解できケアマネとしても積極的にケアチームとして取り組んでいきたい 包括で勤務してますが医療連携会議開き体制作りに取り組んでいますが 今日の内容も参考にしていきたいと思いました。ありがとうございます
- ・終末期医療での対応技術は一般の診療にも使えるものがいくつもあることを知りました 日ごろ、なかなか聞かせていただけない職種の先生方のお話を聞かせて頂いて、痛みや、終末期医療の接し方のお話しが参考になりました。私はデイサービスに勤務しているため、終末期医療には直接はかんよしておりませんが、その考え方、接し方は大いに参考になりました。有難うございました。
- ・慢性疼痛の事業がある事も知らなかったのも、とても参考になりました。
- ・すみません。今回、急用ができ試聴できませんでした。オンデマンドで試聴可能でしたら、ご案内頂けますでしょうか？”
- ・医療介護の連携ができていて素晴らしいと思いました。一方で地域によって同じように連携ができないのが、とても歯がゆいです。
- ・慢性疼痛に対して諦めずに連携して根気よく対応していくことの大切さがわかりました。慢性疼痛に悩む患者様に対し、疼痛をいかにコントロールするかという機能面には着目していましたが、心理面では傾聴以上のアプローチができていなかったことに気付くことができました。研修ありがとうございました。
- ・終末期の方に寄り添い、死なせる為ではなく、今ここにあるせいかつを、いまを生きるために寄り添う事を教えていただき、感動しました。医療との連携の大切さ、リハビリの導入も大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・事例が示されていたので、具体的な対応を学ぶ事が出来た。
- ・痛みに対するの発表が聞けてとらえ方が広がる事ができて良かったです。中塚先生の取りまとめて下さった話がとても分かりやすかったです。
- ・疼痛のある利用者様が多く、ケアマネとしてどのように対応するのがいいのか、がわかりました。今後医療や PT さんとの連携をもって、気長にお付き合いしたいと思います。

今後どんな企画を希望されますか。

- ・ 家族ケアについてももう少し学ばせていただけたらありがたいです。
- ・ 慢性疼痛の基礎的な講義
- ・ 歯科医にも出来ること
- ・ 慢性痛患者への接し方
- ・ 事例を通してのアドバイスを主とした内容
- ・ 今回の企画と同じような事例を通したセミナーが聞きたいです
- ・ 終末期の緩和ケア、関わり方、家族への関わり方を具体的にもう少し学べたらと思います。
- ・ 慢性疼痛と介護予防
- ・ 神経性疼痛の治療やリハビリなど関心があります。
- ・ 定期的にこのセミナーが開催されるのであれば、事例検討や先進的に取り組まれている地域の活動を紹介してください。
- ・ 今後も慢性疼痛の症例をお願いしたいですが、頭痛も、偏頭痛の注射の症例をお願いします。
- ・ 元井先生の事例前振りと、石原先生による医療介護連携の受けの構成が、全体の理解に繋がりが、大変勉強になりました。岡山先生の終末期の痛みに対する科学的かつ実践的な手法を知ることができ、様々な場面で活用させていただきたいと考えます。自身も鍛錬が必要だと思いました。
- ・ 事例を上げて頂いたのがとても分かりやすかったです。介護現場に焦点をあてる機会をまた作って頂きたいです。
- ・ 慢性疼痛をフォローしている開業医と介護保険事業所との連携。介護保険上でもリハスタッフがかかわれる日数が限定的になっており、医師からの指示内容の理解や本人の生活状況を医師と連携してプランが立てにくい。
- ・ 事例検討会や事例を基にした治療や支援方法の講演
- ・ 疾患別の研修
  - ① 関節リウマチの痛みについて。原因や治療内容、痛みの緩和策、生活上の工夫など
  - ② 脊柱管狭窄症についても同様に”  
進行性の難病の方の痛みへの対応、など困難事例の発表を、オンラインで。
- ・ 既に企画されているかも知れませんが、慢性疼痛に関する事例検討会はあれば、参考としたいコメディカルは大勢居ると思います。
- ・ 動機づけ面接
- ・ 確実な吸痰方法の企画
- ・ 具体的な連携支援
- ・ 色々な職種の方のお話を聞かせて頂きたいと思います。
- ・ 難病の方の終末期の医療、介護の連携や対応について等
- ・ 慢性期での心理的なサポート方法、会話の仕方

- ・今日の様な、医療の分野からの対応など、お願いします。
- ・痛みの事でいろんな病院、施設での取り組みを今後も発表してもらいたいです。

### このセミナーをどこでお知りになりましたか？（複数回答可）

51件の回答

